



東海大学大学院 2014年度 家族看護研究会

家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて分析

今回は、家族CNS 児玉 久仁子先生を迎え、

家族システム論で分析します。



事例紹介

ターミナルであることを伝えられない母親
小児癌発症、再発を繰り返し、現在は癌性疼痛出現。
語り合えない家族



プロフィール：児玉 久仁子

(東京慈恵会医科大学附属病院 家族支援専門看護師・家族看護実践センター)
1999年東京慈恵会医科大学卒業。外科病棟に勤務し終末期看護に関心を持つ。
2004年より緩和ケア病棟に勤務。2010年東海大学健康科学研究科を修了。
同年家族支援専門看護師を取得。現在は、コンサルテーション活動のほか、
家族看護実践センターにて看護職への教育活動を行っている。

2015年1月17日 土曜日

13:00~16:00

場所：大学伊勢原キャンパス 3号館1階会議室

アクセス：小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩20分

バス10分(東海大学病院下車)

問合せ先：0463-93-1121(代表) 担当；井上

研究会ホームページ：<http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス：kazoku@tokai-u.jp

